



# ピース! Peace

Team Shiroyama

## Peace 飛び交う、楽しい学校をつくろう!

HP <https://www.nagasaki-city.ed.jp/shiroyama-e/>

令和 6 年 12 月 24 日

学校だより第 12 号

校長 宮田 幸治

## 楽しい冬休みを！ 2 学期が終わりました

2 学期の始業式に、「Peace 飛び交う楽しい学校づくり」に向けて、①合言葉をもとに、友達に声掛けをしている ②学校、教室は、明るく楽しい ③平和への思いを発信しようとしている ④城山小学校の子供でよかったと感じている の 4 つが学校評価でぜひ 100% を目指したいと話しました。続いて、その達成に向けて、「皆が幸せになる 4 つの技として、①失敗しても大丈夫。やってみようという気持ちをもつ ②どんなことにもありがとうの気持ちをもつ ③どんな時も何とかできるとあきらめない ④人と自分を比べずに、あなたらしさに自信をもつ。ということ」を話しました。2 学期はことあるごとにこの話をして、子供たちに自分たちの日頃の言動を振り返るように投げかけました。残念ながら、月ごとのピースアンケート（生活アンケート）では、「学校や学級が楽しくない」という子供が見られます。城山っ子もっとホットタイム（人権集会）では、「城山小学校の子どもは、人権を守り、誰一人、つらく悲しい思いをさせない、ということ」を誓い、目標を決めてこれまで取り組んできたことが、この後もずっと続いていくことを願っています。」と話しました。

いろいろな感情をもつことは誰にでもあります。それをどのように伝えていくのか、相手の気持ちを考えないで自分の思いだけを正当化して表していないか、などを学校生活を離れるお休みの間にしっかりと振り返ってほしいと思います。



## やりたくてもやらない！ きまりを守る子供に…

2 学期の終業式で、冬休みを前に、ある子供から相談を受けたことを話しました。「フォートナイト」というゲームがあります。武器を手に人を殺すゲームで、課金の問題や現実の世界でも友達にひどい言葉を使って意地悪をしてしまう、止めたくてもやめることができなくなってしまう病気になる、などの子供の成長に影響を与えるという問題があって、小学生の使用はダメだと制限をされている通信ゲームです。相談に来た子供は「小学生はやってはダメだと知っているけれど、自分がこのゲームをやめると「なんで？」と文句を言われたり仲間外れにされたりするのではないか」と思い、こわい。だからやめられない。どうしたらいいですか？」と話してくれました。

私はこの話を紹介して、「この悩んでいるお友達に、どう答えますか？」と問い、「やってはならないことは、やってはならないのです。城山小学校にそのような人たちがいることをとても悲しく思います。それでいいのかな？」と話しました。

子供たちには校長からの宿題を 2 つ出しています。1 つは、やってよいこととやってはいけないこと、やった方がよいことをしっかりと振り返り、決まりを守って生活することです。もう一つは、恒例の宿題です。「死ぬな、生きろ、やらかすな」です。

冬休みに入るこの時期に、交通ルールを守ることも含めて家庭でもお話をいただき、今後の子供の成長に向けていただければ幸いです。よいお年をお迎えください。